# 自然アクティビティの 新たなリスクマネジメント

中間報告

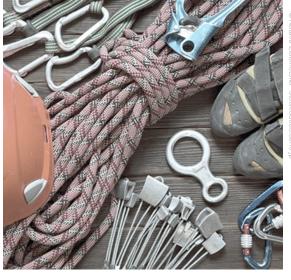
令和5年3月28日

知床アクティビティリスク管理体制検討協議会 座長 石黒 侑介 斜 里 町 町長 馬場 隆



20231110 2023年(令和5年)第1回 適正利用・エコツーリズム検討会議







### リスクマネジメントの重要性

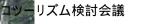
自然環境を核に観光振興に取り組む斜里町・知床エリアとして、リスクマネジメントの重要性を再認識する。自然アクティビティが持つリスクを構造的に把握し、その低減に取り組む。

### 可視化と合意形成

従来は個々の事業者の取り組みに依拠してきたマネジメントを地域全体でとらえ、旅行者に対する発信、事業者間の共有・可視化に地域として取り組む。

### 知床遊覧船事故を踏まえた責務

知床遊覧船事故を踏まえ、地域として二度と同じような事故が発生しないための仕組み作りに政策的に取り組む。それが斜里町、知床エリアの責務であることを認識する。





# 自然アクティビティの 定義と実態

「自然が基盤となる空間において主として観光、教育、健康、 交流等を目的に行われる諸活動」と定義する いわゆる「ツアー」であるか個人利用であるかは問わない

高架式木道の利用 : 20万人規模

知床五湖湖畔 : 6-7万人規模

観光船 : 20万人規模

登山道 : 6-8千人規模

流氷ウォーク :1万人規模

中間報告書 P.5-6



# 基本的な 考え方 (総論)

リスクマネジメントに取り組む上での 前提と取り組みの方向性

中間報告書 P.7



自然環境、事業者のサービス、気象条件などが複雑に絡み合って生まれる多様なリスクに真摯に向き合うこと

自然観光地としての責務

「リスク=不確実性×影響の度合い」 リスクを完全には取り除けない上、 旅行者の期待・満足の低下を招く可能性も

ゼロではなく低減を



# 持続可能性

旅行者が自然、社会に与える影響を管理するとともに、旅行者 の満足度や安心感を保つためにデスティネーション独自のルー ルや行動規範を決定・周知

# 個人化への対応

旅行者の行動はより個人的で活動的なものになり、リスクやインパクトの発生を一元的に管理することは困難に。地域、事業者の負うべき責任を明確にし、その「外側」は自己責任

中間報告書 P.7-8



# リスクの構造と 対応

リスクの種類			例
潜在的リスク		サイト(場所)のリスク	標高、地形・形状、勾配など
付 加 的 リスク	١.	気象条件・野生生物の行動等に 起因するリスク	風速、潮位、波高、降雨量、気 温、ヒグマの出没など
	П.	消費者·事業者の管理・状況に よって生じるリスク	体力、経験、装備、技術レベル など

Chris West/Wirestock- stock.adobe.com/i





リスクには予見性を持って対応できるものとそうでないもの、さらには参加者・事業者のスキル、当日の天候など可変的で不確実なものも存在する。

そこで、自然アクティビティが内包するリスクをサイト(場所)が持つ**潜在的リスク**と、直近の気象条件・野生生物の行動等によって生じる**付加的リスク** I、消費者の管理・状況によって生じる**付加的リスク II** の3つに分けてとらえる。

知床遊覧船事故は**潜在的リスクが極めて高く、付加的リスク | も高い**気象条件で、 事業者による**付加的リスク || のマネジメントが不足**していたと解することができる

中間報告書 P.9

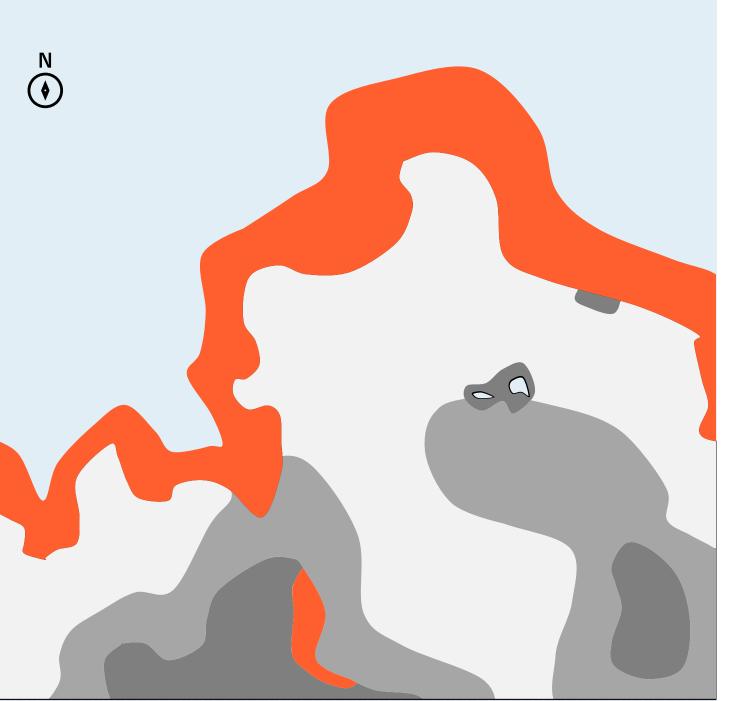


# 情報発信の 重要性

消費者(旅行者)が自然アクティビティのリスクを 理解したり、自らのスキルや価格に基づいて事業者 を比較したり選択する機会がほとんどない

自然アクティビティのリスクを単に把握し、その低減 に取り組む以前に、知床エリアの自然アクティビティ が有する潜在的、付加的リスクをできる限り分かりや すく、正確に発信することが喫緊の課題である

中間報告書 P.9



# 潜在的リスクの評価

- **サイトリスク低1** 利用・活動におけるリスクはほとんどない
- **サイトリスク低2** 通常の利用・活動ではリスクは低い
- サイトリスク中一定のリスクが想定されるが内容や装備、経験次第で抑制可能
- サイトリスク高 個人で立ち入った場合、一定以上のリスクが想定 される

中間報告書 P.10

訪問形態 選択による マネジメント

付加的リスク

地域による一元的な 催行可否判断による マネジメント

低 潜在的リスク 高

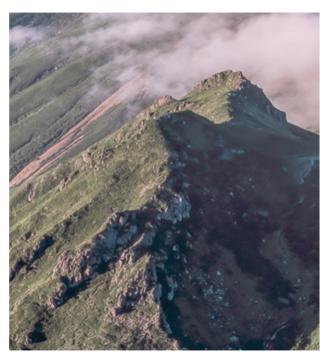
情報発信による マネジメント 訪問形態の <指定>による マネジメント

# 統合的で 可視性の高い 制度

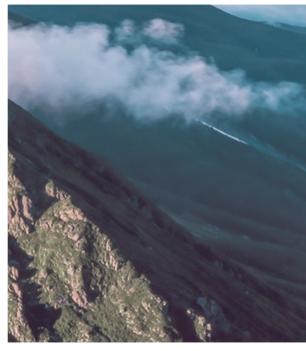
個々の事業者のリスクマネジメントを地域全体 として「見せる」ための仕組みとその基準が必 要。潜在的リスクと付加的リスクを組み合わせ てアクティビティリスクに4つの方針で対処する

中間報告書 P.11-12





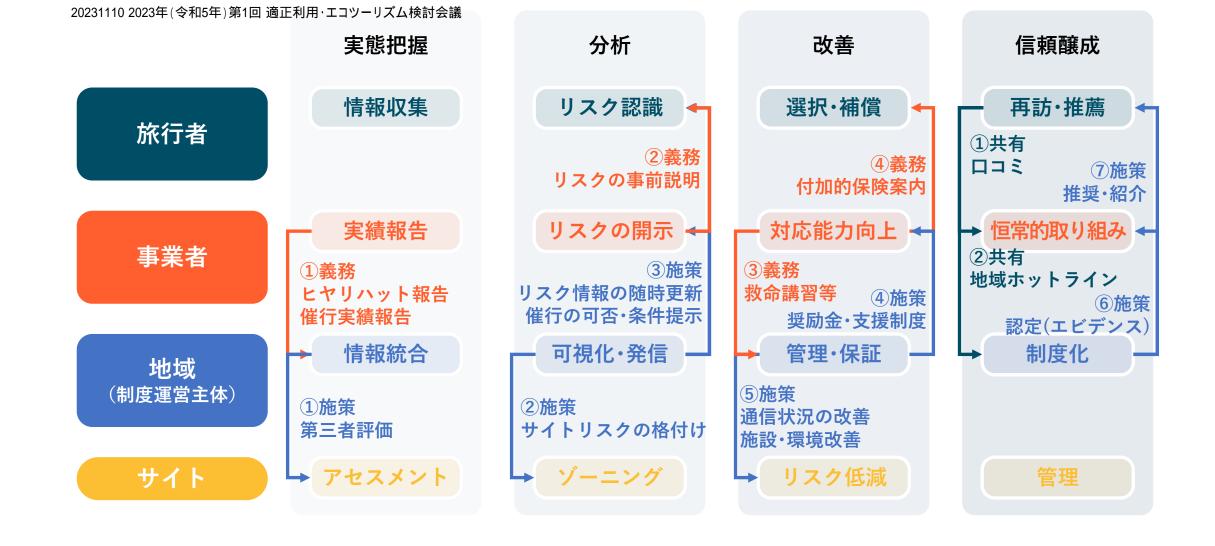




Hiromitsu Kato- stock adobe com/in

# リスクマネジメントの知床モデルを

知床エリアに寄せられる期待、今回の知床遊覧船事故で失った信頼、全てを背負って 自然アクティビティを提供するデスティネーションとしての信頼の醸成に取り組む。 将来的に「なぜ知床はそこまでリスクマネジメントを徹底するのか」と不思議に思われる、そんな地域を目指す。



### 中間報告書 P.14-17

# 新たな対策(各論)

取り組みの全体像としては、実態把握、分析、改善、信頼醸成の4プロセスからなる。



#### 旅行者

旅行者(個人・団体を問わない)は 自然アクティビティを行うことで 一定のリスクを負う





#### 事業者

自然アクティビティをサービスとして 有償で提供する事業者(法人・個人を問わない)が 背負うリスク

#### 地域

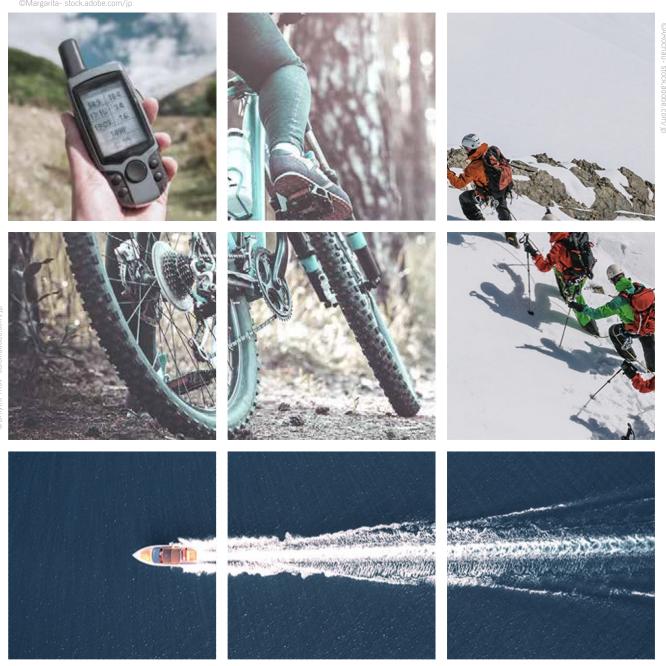
自然アクティビティを核とした 観光振興を営む 地域全体が負うリスク





#### サイト (フィールド)

予見性、可変性の高い 自然環境を土台とした場所、空間が 潜在的に持つリスク





#### サイトリスクの格付け制度

第3者評価に基づいて自然アクティビティ が行われるサイト(空間・場所)のリスク を格付け



#### オペレーターの利用を推奨

アクティビティ事業者(ガイド等)を 「オペレーター」と位置づけ、 リスク低減を担う存在として推奨



#### アクティビティリスク速報

当日、当地のアクティビティリスクを天候 情報やクマの動態等にもとづき一元的に発 信。一律での催行禁止の指示等も検討

13

©biletskiyevgeniy.com- stock.adobe.com/jp

## 「オペレーター」の推奨

一定の基準を満たした事業者を「オペレーター」として位置づけ リスクマネジメントに関するスキルアップや設備投資等を支援。

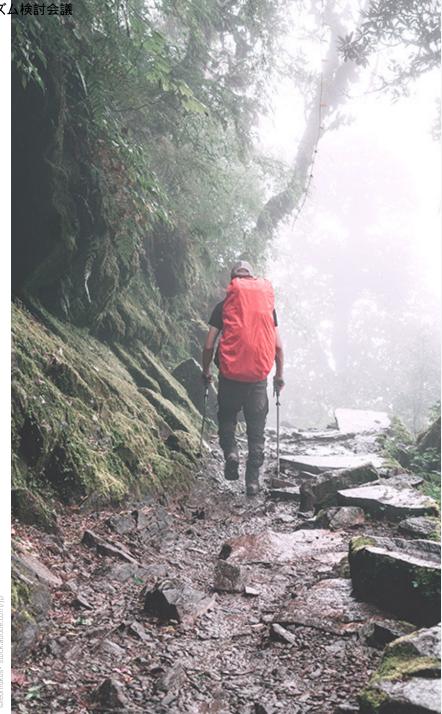
旅行者への推奨も優先的に行う事でサービス品質の管理とリスクマネジメントを結びつけていく



# 最終報告に向けて

継続的な知床アクティビティ-リスク管理体制検討協議会の開催に加え、地域内の関係者との合意形成を進めながら、実行性のある制度確立を急ぐ

中間報告書 P.19



### プラットフォーム

旅行者・事業者への統一的な 情報発信媒体の検討

### サイトアセスメント

アクティビティリスクの把握の基盤となるサイトのリスクを試行的に計測・評価

### 事業者の推奨基準

関連資格・ライセンス等をもとに 基準・要件等を検討

### 関連計画とのすり合わせ

世界自然遺産、国立公園等に関する関連計画・制度との整合性の確認

### 実施主体

本制度の実施主体を検討し、実行性のある体制を整備